

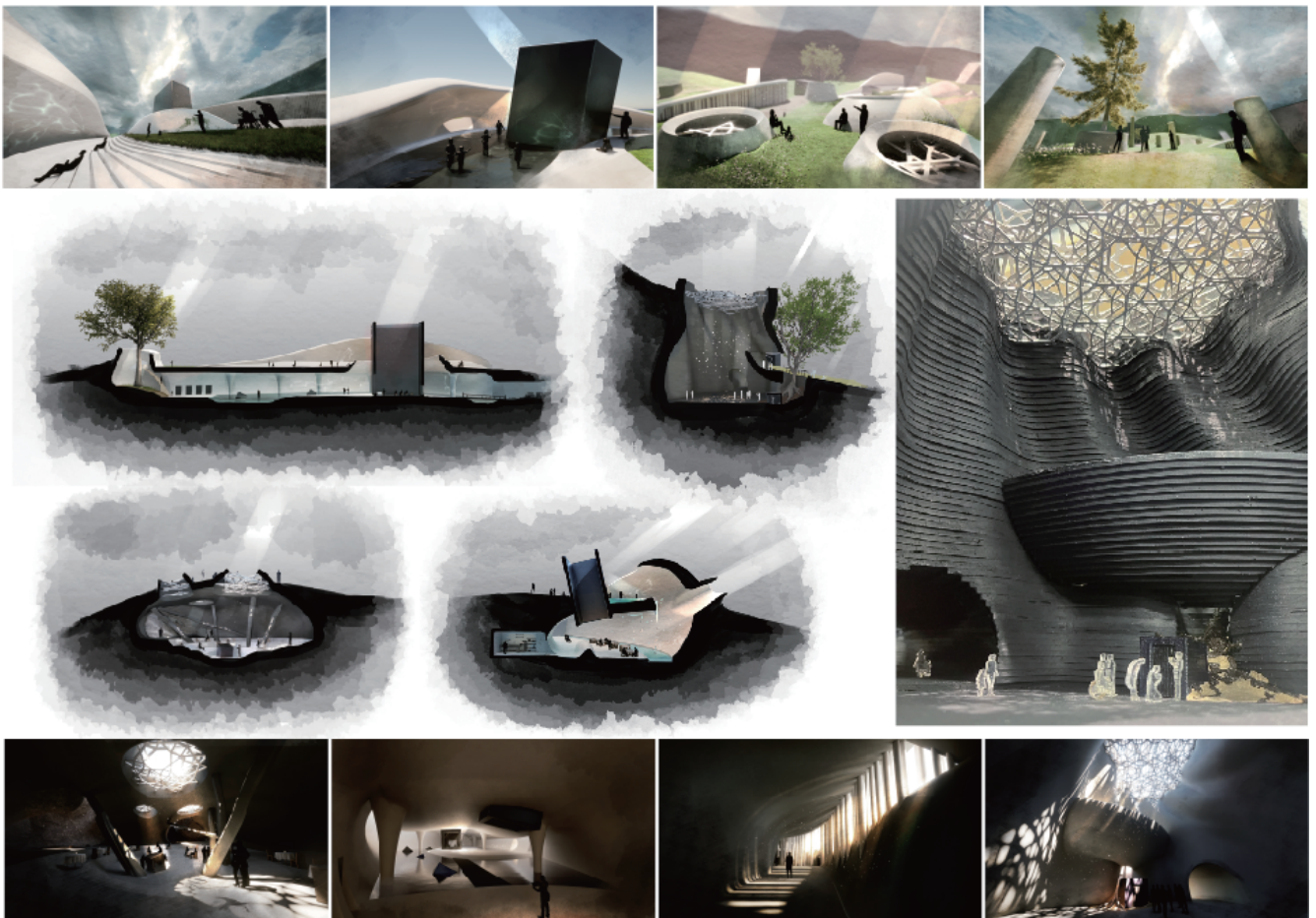
巡葬 ～空間体験による偲びの場の提案～

六角研究室 伊東歩武

研究概要：故人に対して多様な場面の思い出がある中で、現状の墓石の前では想起される場面は乏しく、抱える問題も多い。本提案では偲びの一つの在り方として「故人の場面としての思い出を想起する」ことがより豊かな偲びになると定め、吊いの場として故人との関わり方を火葬場での空間体験を通して再考していく。

研究目的：現状の供養における「義務による管理」から人々を解放し、純粋に故人を想う機会を増やすことを目的として、思い出を想起させるきっかけとなる豊かな現象が織り込まれた様々な偲びの場を構成。体感的な供養の在り方を提案する。

研究成果：



苦労した点や感想など：

故人と向き合うということがどういうことなのかを考え、豊かな現象空間を何度も再考した点は苦労したが、結果的に自分なりの故人に対する考え方を見いだすことができた。全てが有機的に構成された空間をモデル化するには様々な表現方法を模索していたが、最終的にはしっかりと表現できたので満足している。